

令和7年度  
学校関係者評価報告書

学校法人 石井学園  
岐阜調理専門学校

学校関係者評価委員会

## 1 日時

3月5日（木）文書による依頼、3月27日（金）までに回収とした。

## 2 場所

集約場所：学校法人石井学園 岐阜調理専門学校

## 3 評価委員

委員名	所属	役職	備考
平井良樹 様	株式会社ひら井	社長	回収
大脇房夫 様	岐阜県調理師連合会	会長	回収
野呂看一 様	味彩やちぐさ	店長	回収
上山 広 様	日本中国料理協会 岐阜県支部	相談役	回収
丹羽俊文 様	岐阜大学 応用生物学部	非常勤講師	回収

## 4 内容

- (1) 学校の状況及び自己評価の送付
- (2) 委員からの意見回収
- (3) 意見のまとめ

## 5 評価委員の学校評価

評価基準
適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

評価項目	評価となる観点	評価値
0 本年度定めた重点的に取り組む事項について	・社会人としての基本的な生活習慣の確立 ・技術検定の充実と指導の徹底 ・資格指導の充実 ・学生募集	4
1 教育理念・目標に関して	・学校の理念・目的・育成人材像が明確で、社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が抱かれているか。また、そのことが学生・保護者等に周知されているか。	4

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育目標、育成人材像等が業界のニーズに向けて方向づけられているか。</li> </ul>	
2 学校運営に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方針が策定され、それに沿った事業計画がなされているか。</li> <li>・人事、給与規定が整備され、業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか。</li> <li>・教育活動に関する情報公開が適切にされており、情報化による業務の効率化が図られているか。</li> </ul>	4
3 教育活動に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った、教育課程の編成がなされ、業界のニーズを踏まえた教育レベルや学習時間の確保はされているか。</li> <li>・実践的な職業活動の視点に立った教育方法の工夫や、業界の関係団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直しがされているか。</li> <li>・教育目標を達成するための教員確保がなされ、能力開発のための研修等が行われているか。</li> </ul>	4
4 学修成果に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上、資格取得の向上、退学率の低減が図られているか。</li> <li>・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価をしているか。</li> </ul>	4
5 学生支援に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制、学生の経済的な支援体制等が配慮されているか。</li> <li>・学生の生活環境への支援が行われ、保護者との連携は適切に行われているか。</li> <li>・社会のニーズを踏まえた教育環境の整備がされているか。</li> <li>・高校・専修学校との連携によるキャリア教育の取組が行われているか。</li> </ul>	4
6 教育環境に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動に関する施設・設備が十分であり、海外研修等についても十分な育体制がなされているか。</li> <li>・防災や衛生管理に対する体制や整備がなされているか。</li> </ul>	4
7 学生の受け入れ募集に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は適正に行われ、学納金は妥当なものか。</li> </ul>	4

8 財務に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の財政基盤が安定しており、予算・収支計画は妥当であるか。</li> <li>・会計監査が適切になされ、財務情報公開の体制整備はできているか。</li> </ul>	4
9 法令等の遵守に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。</li> <li>・個人情報 that 適正に保護されているか。</li> <li>・自己評価を実施し問題の解決をするとともに、自己評価結果を公開しているか。</li> </ul>	4
10 社会貢献・地域貢献に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用して社会貢献や地域貢献を行っているか。</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励、支援し、地域に関する公開講座等を積極的に実施しているか。</li> </ul>	4

## 6 評価委員からの意見

### 0 本年度定めた『重点的に取り組む事項』について

- ・学校訪問の際、生徒さんからは気持ちの良い挨拶がされ、とても良い指導が行われていると思われる。
- ・合格率においてよい結果が見られる。
- ・ハラスメントにおいては全く問題ないと思われる。
- ・ガイダンスも年々拡充が図られており、とても良いと思われる。
- ・挨拶や礼儀、その他身の回りの整理整頓、掃除など基本的な生活習慣も身に付いています。調理師である前に、社会人として恥ずかしくない人材となるような指導を心掛けていきたい。
- ・(1)の社会人としての…これから社会に出ていく若者に最も大事なことです。これがなくては社会で活動ができません。大事！！
- ・県内高校卒業者の減少に伴い、入学者の確保が問題となる。留学生多作も考えていくべきと思う。
- ・御校独自の「重点的に取り組む事項」は、生徒募集の工夫から入学した生徒の調理師としての学力保証に加え人間性の陶冶、それを支える職員集団の在り方までが網羅されており、大変適切な5項目である。常にこれに照らした学校運営があれば、益々の御校発展が見込まれる。

### 1 教育理念・目標に関して

- ・学校問題などで明確な分析がなされており、今後の方向性も明示されているなど、とて

も良い方向性にあると思われる。

- ・教育理念、目標は今の時代に合っています。生徒も周知していると考えます。
- ・調理師及び製菓衛生師免許取得を前面に、育成する人物像を明確に示した理念・目標があり、それを周知しているからこそ、自身の希望と合致することを確認して入学してくる生徒も多い。

## 2 学校運営に関して

- ・時代の変化に伴う改革、変更は適切に行われていると思われる。
- ・人を育てることの大切さにあった運営方針がしっかりと行われていると思います。
- ・学校の運営方針に基づき、授業及び事業が実施されていると理解できる。
- ・運営方針に沿った授業や事業が実施されており評価できる。運営に関する学校としての「学校運営細目」「内規」等があると日々の学校運営の円滑化が更に図られる。

## 3 教育活動に関して

- ・生徒の能力差を感じつつも、それぞれに対し適度な指導がなされており、適切な指導がなされていると思われる。
- ・評価は十分、受け入れておられます。
- ・教育理念に沿った課程がなされている。
- ・個に応じた教育活動、進路指導が行われている。
- ・先生が他の授業を参観することができれば良い。
- ・調理系専門学校の横の繋がりが少ない中、職員が教員研修に参加されたのは大変評価できる。これらの報告は職員で共有される機会はあるか。参加者のみで自分のものにするのではなく、研修内容・技術を組織として共有し「岐阜調理専門学校流」の在り方を検討されたい。

## 4 学修成果に関して

- ・求人数など、明確な分析がなされており非常に良い。
- ・退学者、休学者に対してもしっかりと分析と対応がなされている。卒業生に対しては、今後さらなるトレースを行い、後輩などに伝えることで人の結びつきなど、さらに構築されるとさらに良いと思われる。
- ・卒業生も料理人として頑張っています。資格取得にも努めていると感じました。
- ・調理師としての資格取得は、本人、家族の入学目標です。サポートもしっかりされている。
- ・就職率の向上については、本資料において本年度就職率の実績を示してないので評価しづらい（(5)に簡易的に記載はあるが）。製菓衛生師資格取得合格率の安定が見られないことが自己課題と提示されているが、間違いやすい問題の分析、過去問の繰り返し実施、

課題生徒の個人指導、「全員が受かるんだ」というモラルの喚起の元、生徒が互いに教え合うという雰囲気の醸し出しができるが良い。

## 5 学生支援に関して

- ・ SNS 等の問題分析もしっかりとなされていると思われる。
- ・ 奨学金制度の拡充も図られておりとても良い。
- ・ 学生、卒業生の支援を大事にして、常にフォローしてあげたい。
- ・ 学生への経済的支援、軽減対策もしっかりとされ理解できる。
- ・ 生徒への「学業、進路、友人関係等」の支援は、その丁寧さ、トラブル対処等も含め岐阜県一ではないかと思う。経済的な支援についても、大都市圏への調理学校入学希望からとどまらせるものとなっている。P8エ) 下から3行目、100,000万円補助→10万円

## 6 教育環境に関して

- ・ とても良いと思われる。
  - ・ 本物のフランスを体験したりして、とても良い琴です。
- とにかく学校で「料理を作る楽しさ」を少しでも会得してもらえたらいいと思います。
- ・ 円安がこのところ続いていますが、身近な国内研修も参考に視野にいれたらどうか。
- 実習に備える器具や備品について、時代とともに進化していくので、必要なものを置くことができるように見直してほしい。
- ・ 食品を扱う環境として、いつ訪問しても清潔に整備され、先生方の指導のたまものを感じる。

## 7 学生の受け入れ募集に関して

- ・ 適切に行われている。
- ・ 入学者充足率の90%は素晴らしいことです。
- ・ 年度別入学の動向も増加の方向で努力されている。
- ・ 学生募集は、工夫をしながら精力的に活動している。今後は「岐阜調理へ入学させればちゃんと教育してくれる」との証左を示しながら、益々高校との繋がりや進路指導担当者や管理職との繋がりを強固にしていくと良い。
- ・ 入学生に「どの体験入学のメニューが良かったか」「もっとこんなメニューがあると良い」を聞いて分析・改良をすると良い。生徒達は他校の体験にも行っており参考になると思われる。

## 8 財務に関して

- ・ 問題なし。
- ・ 財務が安定している事は、生徒たちにとっても大切なことです。職員の皆さまのご努力

のおかげです。

- ・材料費のコスト削減に取り組むために一品目二業者など選定し、単価の見直し、価格、原価を抑える努力、工夫をする。
- ・少子化の中、学園全体の収支のバランスを保ち、経常収支差額のプラスを目指す。であれば、教育活動収支差額がたとえマイナスでも「生徒・保護者にとってコストパフォーマンスの良い学校」となるのではないか。財務情報については外部からは評価することはできず、財務担当者の一定の公開が必要。

## 9 法令等の順守に関して

- ・全く問題なし。
- ・問題ないと思います。
- ・適正と思われる。コンプライアンスの意識はどうしても高齢になるほど低い傾向がでやすいので、職員会議等で常に話題にするべし。

## 10 社会貢献・地域貢献に関して

- ・免許取得の為、教育時間、ボランティアの確保等の問題も適切に考慮されています。
- ・社会貢献は大切な事です。生徒さんにとってもいい体験となり、釈迦に出てもその気持ちを大事にしてくれると思います。心やさしい気持ちを持ってくれるのでしょうか。
- ・社会貢献、地域貢献は大切な課程の一環と理解している。年間カリキュラムの中に加えてほしい。
- ・学生自らが取組、参加できるように支援する。
- ・現代の若者はびっくりするほどボランティア活動に対して非常に前向き。

私を通う大学の学生も、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献するためにボランティア活動を積極的に行っている。

御校も長期休業中等にボランティア活動（アルバイトで良い）を勧め、普段の生活では出会えない人々との関わりができること、自身の成長や人脈形成にもつながること、社会に貢献し、自分自身も成長できることを話すと良い。自身に投資することにも繋がる。

## 7 まとめ

○昨年度に引き続き、各項目とも概ね「4：適切」という評価をいただき、全体的には自己評価と同等、もしくは上回っている。いただいたご提言の中には、すぐに実現できるものもあれば、中長期的な視点で実現を図らねばならないもあり、項目ごとに精査し、実現可能なもの、優先順位の高いものから改善を図りたい。

多くのご指摘やご提案をもとに、来年度以降、次のように継続・改善に努めたい。

・「挨拶ファースト（ぺこり、にっこり、ほっこり）」を挨拶奨励の標語とし、粘り強く声掛けをしながら、本校の伝統として定着させていくことをめざす。

・来年度も中高生時代をコロナ禍で過ごした生徒が多く入学してくることを十分に考慮し、生徒との円滑なコミュニケーションを更に強化していきたい。

・非常勤の先生方とは、コミュニケーションを図る時間がとりにくいが、個人情報以外のことは、LINE やメールを有効に活用しており、今後も継続し緊密化を図りたい。

・現場での体験を含めたボランティア活動については、学校管理下において、授業内に組み込みインターンシップ等で実施できれば、大変効果的であると考えているが、養成施設としての単位修得のための標準時間数を削るわけにはいかない。その代替措置として、なるべく調理系のアルバイトを奨励しており、卒業生が就職した企業、店舗などをアルバイト先として推奨している。

・独立、開業の方策については、コロナ期の中断を挟んではいるが、約10年前から岐阜県信用証協会から講師を招き、開業するまでの必要資金や立地条件の選定、人流等のマーケティングを学んでいるが、今後も開催し生徒の夢の実現につなげたい。

・年度当初に校長、副校長が、元職の人脈を生かし、「体験入学チラシ」「募集要項」を持参して、高等学校を直接訪問している。訪問時には校長や進路指導主事、担当者と懇談を行っており、県内公立高校（特別支援学校を含む）60校、私立高校31校に対し、60%以上の高校に及ぶ。これは、単に生徒募集の目的にとどまらず、本校の教育理念の周知、その高校の卒業生の進路先などを提示することで、「各高校との繋がり」をさらに強固なものとすることを目的としている。同時に一宮市を中心とする愛知県域や滋賀県湖東地域の学校への訪問も精力的に展開したい。

・来年度以降も「岐阜県総合教育センター」「県高等学校教頭部会」などから、教員を対象とした研修の依頼を受けているが、可能な限り応えていきたい。

・生徒募集の一環として、「頑張っています 卒業生！」のタイトルで、学ぶ姿の写真と、自筆のメッセージ入りのポスターを作成し、新入学生徒の出身高校を訪問（遠隔地は郵送）した際に、校内掲示を依頼している。

・最も多くのご指摘を受けた「社会貢献・地域貢献」に関しては、専門学校（養成施設）という特性上、その内容、時期等について限定的なものにならざるを得ない側面があるものの、可能な限り対応していきたい。

・地域貢献とはやや目的が異なるかもしれないが、本校施設の主体であるアクティブG主催のイベントなどに積極的に参加することも考えてゆきたい。

・有為な人材の輩出こそが、本校ができる最大の地域貢献であると考えている。